

経営比較分析表（平成30年度決算）

滋賀県 大津市

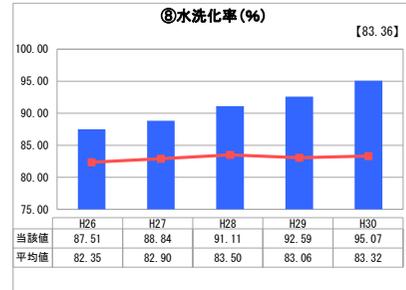
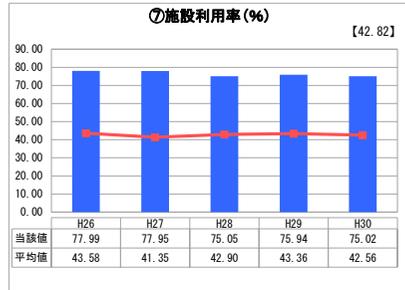
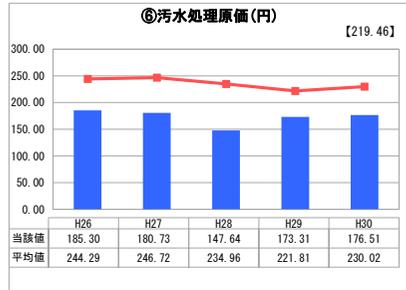
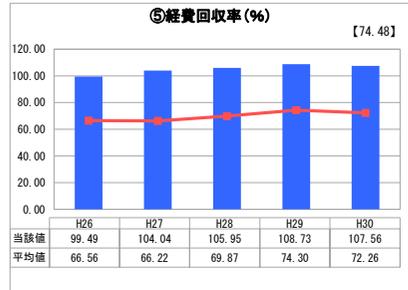
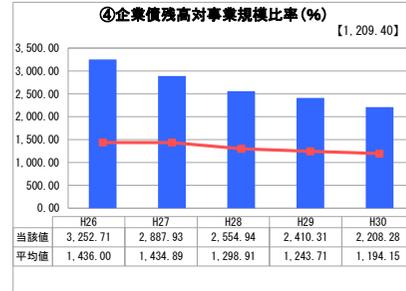
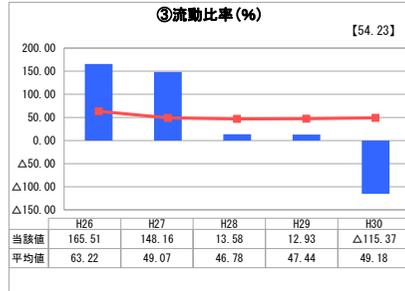
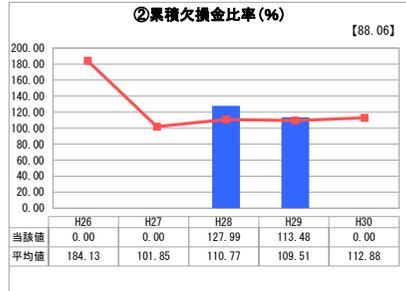
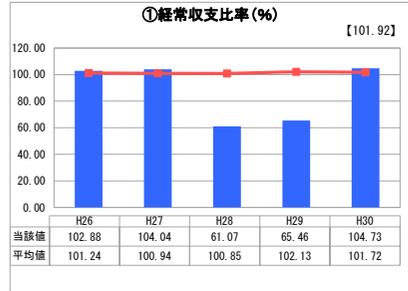
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	59.52	1.55	82.54	2,878

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
342,950	464.51	738.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,316	2.39	2,224.27

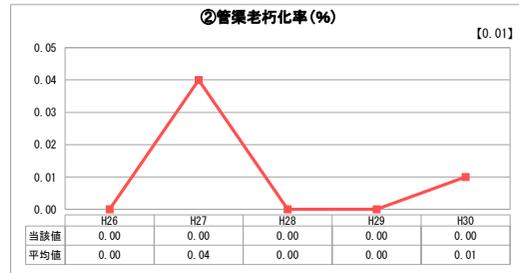
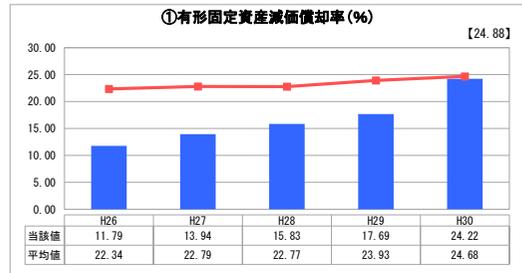
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

※一部指標の修正について
次の指標の一部に誤りがありました。正しくは次のとおりです。

① 経常収支比率 H28(当該値)61.07 ⇒(正)100.36
H29(当該値)65.46 ⇒(正)100.84

② 累積欠損金比率 H28(当該値)127.99 ⇒(正)0.00
H29(当該値)113.48 ⇒(正)0.00

③ 流動比率 H27(当該値)148.16 ⇒(正)163.74
H28(当該値)13.58 ⇒(正)45.96
H29(当該値)12.93 ⇒(正)△61.40
H30(当該値)△115.37⇒(正)△203.60

④ 企業債残高対事業規模比率は、企業債残高の規模を表す指標で、低い方が良好な状態です。①経常収支比率及び⑤経費回収率は、共に全国平均及び類似団体平均を上回りましたが、③流動比率については、公共下水道事業と同様に、一般会計からの繰入金減額により、昨年度から0%を下回っています。

⑥ 汚水処理原価は、有収水量1m³あたりの費用を表す指標で、低い方が良好な状態です。全国平均及び類似都市平均を下回っています。

⑦ 施設利用率は、高い方が施設の利用状況や規模が良い状態である指標です。全国平均及び類似団体平均を上回っています。

⑧ 水洗化率は、処理区域内人口のうち汚水処理をしている人口の割合を表す指標です。増加が続いており、全国平均及び類似団体平均を上回っています。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、償却資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度を示しています。全国平均及び類似団体平均よりは下回っているものの、増加傾向を示しており、経年劣化が進行していることが分かります。施設として新しいため、老朽化対策等を施していませんが、将来的な改築更新を見据え、費用の平準化に努めつつ、計画的かつ効率的な施設の管理を行っていく必要があります。

全体総括

特定環境保全公共下水道事業とは、市街化区域以外の区域にある下水道のことで、公共下水道事業と一体で下水道事業として運営しており、各々の事業費は、全体の事業費を各種比率で按分して算出しています。

本市においては、一般会計からの繰入金がここ数年減額されており、公共下水道と同様に流動比率などの指標が悪化しています。今後は、より一層、経営の効率化に努めるとともに、今後の一般会計からの繰入金についても市の財政当局と調整を行っていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。